

## 「日常生活と心のはたらきに関する地域比較調査」の結果報告

このたびは、私が 2014 年度後期に宮城県（東北学院大学）と愛知県（名城大学、金城学院大学）にて行ったアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。

この調査の目的は、心理学（とくに社会心理学）の観点から、自分の理想や社会からの期待に沿った望ましい行動をとるための能力である**自己制御**が、社会環境（居住地域、引っ越し経験）や個人特性によって異なるのかどうかを明らかにすることでした。これまでに、自己制御がうまくできる人たちは、学業や職業において成功しやすいことが報告されていますが、どうすればうまく自己制御できるのかについてはまだよくわかっていないのです。

ここでは、自己制御（自律性、促進—予防焦点）や、それに影響すると考えられる個人の志向性（喜び追求、くつろぎ追求、幸福追求）に関する統計解析の結果を報告いたします。

### 1. 回答者の基礎的情報

- ・宮城県：男性 71 名（平均  $20.1 \pm 0.38$  歳）、女性 104 名（平均  $20.1 \pm 0.43$  歳）
- ・愛知県：男性 69 名（平均  $19.1 \pm 0.79$  歳）、女性 193 名（平均  $19.4 \pm 0.70$  歳）

### 2. 自律性：自分の行動を自分自身で決めることができる（1～6 点、図 1）

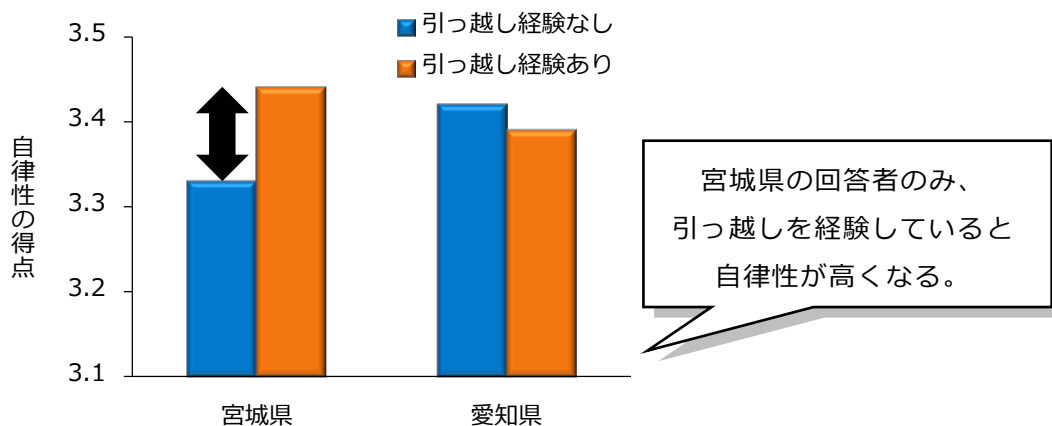


図1 地域ごと・引っ越し経験ごとの自律性の得点

### 3. 促進焦点：物事に成功して、夢や願望を実現することを重視する（1～5 点、図 2）

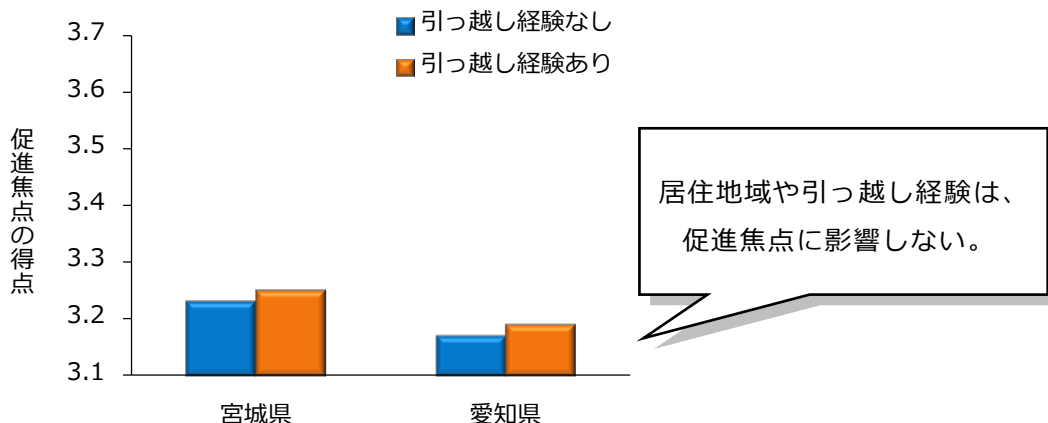


図2 地域ごと・引っ越し経験ごとの促進焦点の得点

4. 予防焦点：物事に失敗せず、責任や義務を果たすことを重視する（1～5点、図3）

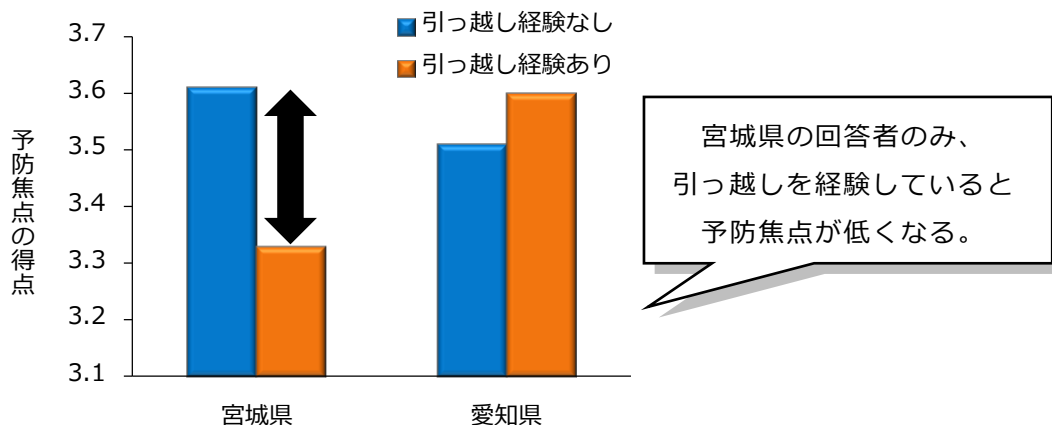


図3 地域ごと・引っ越し経験ごとの予防焦点の得点

5. 喜び追求：日常生活において、楽しさや面白さを求める（1～7点、図4）

6. くつろぎ追求：日常生活において、気楽さや穏やかな気分を求める（1～7点、図5）

7. 幸福追求：日常生活において、自分の力を発揮することを求める（1～7点、図6）

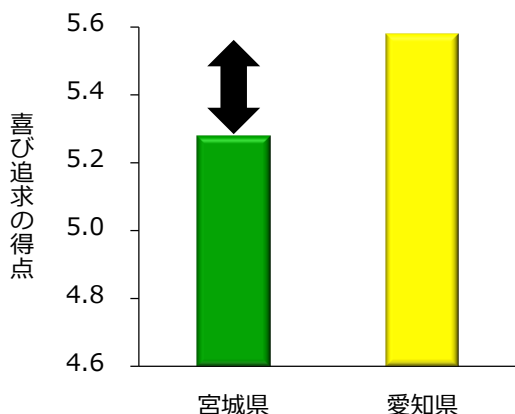


図4 地域ごとの喜び追求の得点

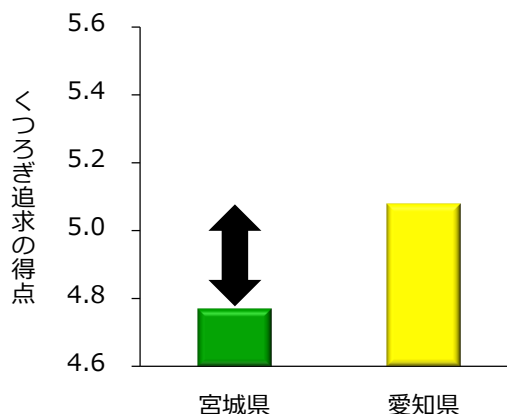


図5 地域ごとのくつろぎ追求の得点

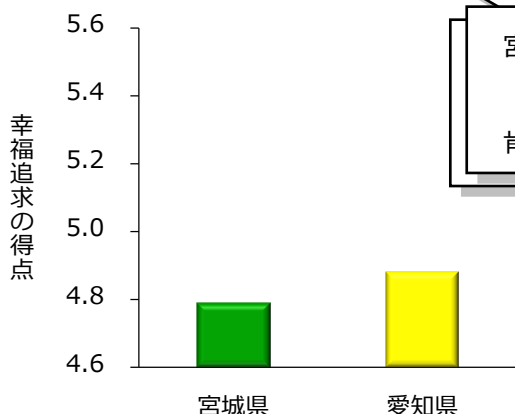


図6 地域ごとの幸福追求の得点

宮城県の回答者のほうが、愛知県の回答者よりも肯定的な感情を求めない。

宮城県でのみ、自律性や予防焦点の得点が引っ越し経験の有無によって違っていたこと(図1, 3)に、喜び追求やくつろぎ追求の地域差が関係しているかもしれない。

5. 最後に

これから、どうすればうまく自己制御できるのかについてより詳しい統計解析を行い、学術論文としてまとめていく予定です。重ね重ね、本当にどうもありがとうございました。